

小樽ロータリー

クラブ会報

10

No.4021
創立1933.12.12

例会場：グランドパーク小樽
 例会日：毎週火曜日12時30分
 事務所：小樽市築港11番3号
<http://www.otaru-rotary.net/>
 発行日：2016年9月13日

2016-17年度 国際ロータリーテーマ

人類に
奉仕する
ロータリー

2016~2017年度 RI会長 ジョン F. ジャーム (John Germ)



今日のプログラム

「女性社員の活用術」

田北社会保険労務士事務所 所長 田北 百樹子様

第9例会記録 2016年9月6日

■ロータリーソング 「四つのテスト」

■メーキャップ受付 山田 正様 (小樽南RC)

■会長報告 (泉会長)

・地区青少年交換プログラムによる今年度アウトバウンド交換学生、坂田恵さんからの8月のマンスリーレポートをご紹介します。総合評価は、5点満点の「5」で、楽しく現地生活を送っており、フィンランド語の授業には苦労していますが、習得に務めております。クラスメイトやホストファミリーとは英語で会話ができるようです。現在学校で風邪が流行っており、本人もやや咳が出るとのことですが、それほど問題ないようです。

■幹事報告 (上参郷幹事)

- ・誕生祝は、移動例会のため次週に延期します。
- ・地区大会の登録料を次週9月13日(火)に上浦副幹事が集めますのでご用意願います。
- ・次々週9月20日(火)はガバナー公式訪問です。多くの会員の例会参加をお願い致します。それに先立ちまして、同日11時より、第2回クラブ協議会を開催致しますので、理事・役員・委員長・入会3年未満の会員の方は、出席をお願い致します。
- ・本日例会終了後、理事会をロビーにて開催致します。理事、役員の皆様はお集まりください。

■委員会報告

●社会奉仕委員会 (渋谷委員長代読 上参郷幹事)

- ・植樹事業の千年の森の協賛事業「いのちの森植樹祭」が、9月11日(日)に奥沢水源地で開催されます。小樽RCの事業として参画します、多くの会員の参加をお願い致します(お申込みは委員長まで)。

■真心箱報告

- ・柴田会員…本日は職業奉仕委員会担当の例会です。宜しくお願いします。
- ・米山会員…皆様を宏楽園にお迎えして。
- ・山田会員…夜間例会ゲームの5テーブル最終アンカーでつい興奮して手を挙げてしまいました。間違わなくて良かった！

- ・松倉委員…納涼会、皆様のおかげで無事に終了することができました。ありがとうございました。また、協力頂いたグランドパーク小樽のスタッフの皆さんに感謝申し上げます。
- ・武井会員…日本新聞販売店協会で賞を頂いて。

前回のプログラム

職業奉仕委員会担当 職場例会「おたる宏楽園」
 「おたる宏楽園の歴史」 米山幸宏会員

●職業奉仕委員会 柴田委員長

<職場例会について>

ロータリーの初期の歴史を振り返ってみますと、最初の会合は1905年2月23日、シカゴのイリノイ州ノース・ディアボン街127番地にある、ユニティビル7階のガスターバス・ローアの事務所でした。2回目はポール・ハリスの事務所、3回目はシルベスター・シールの事務所、4回目はハイラム・ショーレの洋服店、5回目はウィリアム・ジェンセンの事務所、6回目はハリー・ラグルスの印刷所と、職場を回り持ちして会合が開かれました。従って、職場例会はロータリーにおける例会の原点ともいえます。

実はこの6回目の会合が、会員の事務所で開かれる最後の会合となり、その後はシカゴの色々なホテルやレストランで代わる代わる開かれ、これが「ロータリー」という呼称の語源になったと考えられています。

一般に、例会はRC定款第6条で厳しく規定されており、徒に変更や取り消しを行うことは出来ません。ただ、正当な理由がある場合は、例会を前回の例会の翌日から次の例会の前日までの間のいずれかの日、又は定例日の他の時間に、もしくは他の場所に変更することができます。

そこで各クラブでは、職場及び事業への理解を深めるために、必要に応じて会員の事業所を始め、様々な事業所を訪問し、場合によっては、その事業所での職場例会が実施されています。

米山君は、職業分類が旅館となっています。職業奉仕をサービスと考えれば、仕事そのものが職業奉仕になっているのではないのでしょうか。



●株温泉宏楽園

代表取締役 米山 幸宏様

創業者は、私の祖父、米山清作で、新潟県京ヶ瀬村の米作り農家出身でした。新潟県柏崎市には、標高およそ1,000mの米山という山や、米山という町名があり、現在でも50軒近くの米山姓を名乗る家があります。

1912年(大正元年)頃、清作は18歳単身で家を出、長万部で金物店を営んでいた兄に身を寄せました。当時は、新潟から北海道への移住は、他の県に比べてかなり多かったそうです。自ら生計を立てるため、農家から卵を買い、国縫や八雲などの町に売って回り、後にホクリヨウを創業する原点となりました。

自活できる自信を得た祖父は、1916年(大正5年)頃、当時賑わっていた小樽に入り、一説では餅屋で働き、溜まったお金で稲穂町に雑品回収のお店「米山清作商店」を開業、1925年(大正14年)には、銅鉄商として色内に会社を興し、繁盛しました。資金に余裕ができるとレジャー産業に興味を持ち、1937年(昭和12年)に朝里の4万5千坪の土地(現在の6倍の面積)を清水農園より買収しました。当面は別荘として整備し、将来は遊園地を建設しようとしていたようです。折しも1940年(昭和15年)に、皇紀2600年大祭が全国の神社で行われるのに併せて、朝里の事業を2600年記念事業と位置づけたようです。

宏楽園の「宏」は、皇紀2600年大祭のスローガンである「八紘一宇」の「紘」から取ったものです(両者とも広いという意味がある)。早速、朝里川から運んできた玉石を宏楽園の入り口に積み上げて門としました(現在もそのまま)。桜並木やロータリー、池や大きな石も当時の造成のままなのが面白いところです。

1945年(昭和20年)、戦局が激しくなり、市内の銅鉄店を廃業し、朝里に疎開しました。翌年の農地改革で土地が半分に減り、さらに昭和30年代になって、朝里に都市計画事業が施行されて、現在の8,000坪になりました。

朝里の事業と並行して、蘭越町昆布温泉の成田温泉(最近では薬師温泉と呼ばれるも一昨年閉館)も買取り経営しましたが、1952年(昭和27年)にこれを売却、その資金をホクリヨウと宏楽園の設立費用に充当しました。

1955年(昭和30年)に温泉ボーリングを行い、温泉表示が許可されたことで、1957年(昭和32年)4月に旅館をオープンさせました。設立当時の役員メンバー(敬称略・役職当時)は、社長に米山清作、専務に辻喜四郎(辻鉄工所社長・市議会議員)、取締役松川嘉太郎(中央バス社長)、寿原外吉(寿原商事社長・商工会議所会頭)、阿部益治郎(こだま交通社長)、監査役に米山清一がそれぞれ名を連ねておりました。

当初は部屋数12室と広間が1つ、裏山にロープリフトを備えたスキー場がありました。

祖父の清作は、私の生前の1962年(昭和37年)に肝臓癌で亡くなっているので、記憶には残っていません。旅館の奥がそのまま叔父の家に繋がっていたこと、スキー場があった斜面をソリで滑って遊んだこと、旅館には住み込みの年配の仲居さんがいて、彼女達の2段ベッドで遊ばせてくれたこと、



現在、望洋台に繋がる新光大橋の辺りにホクリヨウの豚や鶏の飼育舎があったこと等が記憶として残っています。

宏楽園は1973年(昭和48年)に客室を26室に増築、1983年(昭和58年)に大浴場に露天風呂を増築、1992年(平成4年)に再増築をして34室になりました。1997年(平成9年)に初めて個室露天風呂を設置しました。ご存知のように一昨年、火災がありましたが、皆様のご支援により再建を果たすことができました。

この後、新しい客室や浴場を視察いただきたいと思います。ご清聴、ありがとうございました。



出欠調べ

(9月6日分)

1. 本日の欠席者(18名)
 飴谷 佳一、石井 伸和、海老名敏男、金久保兵士郎、
 渋谷 繁男、寫村 公宏、鷺見 悠、田中 良和、
 谷内 馨一、土屋 大乘、永井 扶、中野 豊、
 野口 禮二、橋本 斉、花和 嘉貴、平松 正人、
 堀岡 秀之、宮本 孝雄
2. 本日の出席者(会員77名中56名)
 (出席規定除外者9名中6名出席)
3. 前々回(8月23日)の確定出席率(会員数77人)
 (義務出席会員74名 出席64名 86.49%)
4. 前々回のメーキャップ
 星野 昭雄(樽南)

■次回のプログラム 「ガバナー公式訪問」

■本日の記事担当 (小松田哲弘)

